

2011年度第3回日本語教育巡回研修会(台北・台中・高雄)

## 中上級の教え方を考える

—国際交流基金 日本語教授法シリーズ10  
『中・上級を教える』を中心に—

国際交流基金日本語国際センター 白井桂

[kei\\_shirai@jpf.gp.jp](mailto:kei_shirai@jpf.gp.jp)

## 国際交流基金教授法シリーズ

- |                              |                        |
|------------------------------|------------------------|
| 第1巻 日本語教師の<br>役割/コースデザイ<br>ン | 第8巻 書くことを教え<br>る       |
| 第2巻 音声を教える                   | 第9巻 初級を教える             |
| 第3巻 文字・語彙を教<br>える            | 第10巻 中・上級を教<br>える      |
| 第4巻 文法を教える                   | 第11巻 日本事情・日<br>本文化を教える |
| 第5巻 聞くことを教え<br>る             | 第12巻 学習を評価す<br>る       |
| 第6巻 話すことを教え<br>る             | 第13巻 教え方を改善<br>する      |
| 第7巻 読むことを教え<br>る             | 第14巻 教材開発              |



## はじめに

- 皆さんは自分の日本語の力は初級・中級・上級のどれだと思えますか。理由とともに述べてください
- 次の言葉を聞いたことがありますか
  - ・インプット、アウトプット
  - ・トップダウンモデル、ボトムアップモデル
  - ・前作業・本作業・後作業
  - ・第二言語習得研究

3

## 今日の授業の内容

1. 「中上級」とは
2. 中上級の授業で教えること
3. 中上級の教え方
4. 中上級の授業の実際

## キーワード

- 課題遂行能力
- インプット、アウトプット
- トップダウンモデル、ボトムアップモデル
- 前作業・本作業・後作業
- 多技能統合

5

## 1. 「中上級」とは

初級・中級・上級というのはどういう基準で決まりますか

### 判断基準は？

学習時間

教科書

語彙

文型

言語行動・課題遂行能力  
(~ができる)

…共通に理解できる基準になる

## 1.1 課題遂行能力を中心にした能力基準

- 全米外国語教育協会の口頭表現能力テスト (ACTFL - OPI)
- ヨーロッパ共通参照枠 (CEFR)
- JF日本語教育スタンダード (JFスタンダード)
- 日本語能力試験

7

## 1.1.1 全米外国語教育協会の口頭表現能力テスト

- 全米外国語教育協会 (The American Council on the Teaching of Foreign Languages:略してACTFL)の口頭表現能力テスト (Oral Proficiency Interview:略してOPI)

⇒資料1

## 1.1.2 ヨーロッパ共通参照枠

- ヨーロッパ共通参照枠 (Common European Framework of Reference for Languages : learning, teaching, assessment :略してCEFR)

⇒資料2

## 1.1.3 JF日本語教育スタンダード 2010

- ・日本語の教え方、学び方、学習成果の評価のし方を考えるためのツール
- ・日本語で何がどれだけできるかという熟達度の参照
- ・コースデザイン、教材開発、試験作成などへの活用

・理念

「相互理解のための日本語」

課題遂行能力

異文化理解能力

10

「Can-do」とは

日本語の熟達度を「～できる」という形式で示した文

「Can-do」には、6つのレベル (A1,A2,B1,B2,C1,C2)がある ※

「Can-do」を使うことで、

・日本語の熟達度を客観的に把握したり、今後の学習の目標を明確にしたりすることができる

・他の人や機関と、目標や熟達度を共有できる

「Can-do」の6レベル



※「Can-do」のレベルはCEFRに準ずる

11

## 1.1.4 日本語能力試験

⇒資料3

12

## 初級・中級・上級レベルと関係する要素

⇒資料4

13

## 2 中上級の授業で教えること

- 話題、場面
- 課題(できること)
- 文法能力(文法、語彙、音声、文字…)
- 談話能力
- 社会言語能力
- ストラテジー能力

14

## 2.1 話題・場面

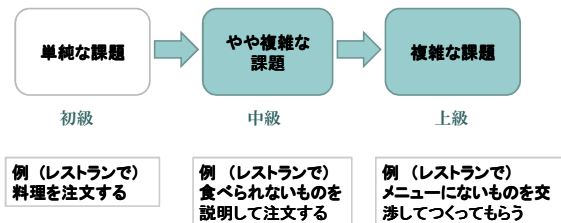
- 「中級」「上級」で扱う話題・場面



15

## 2.2 課題（到達目標と教室活動）

- 「中級」「上級」の課題



16

コミュニケーション能力を構成する4つの要素

文法能力・社会言語能力・談話能力・ストラテジー能力

Canale & Swain (1980), Canale (1983)

「話題・場面」「到達目標」「教室活動」「言語知識や能力」の関係

### 2-3 文法能力

発音、文字、語彙、文法

- …「中級」「上級」の「課題」を遂行するために必要なもの
- 「課題」遂行の中で教える
- 体系的に整理して教えることも必要

17

ある人が借りた車を壊してしまったときの謝罪のことばです。下線に次の3つの文が入ったときの、相手に与える印象を考えてください。

「ごめんなさい。お借りした車なんですが、  
実は…車が/を \_\_\_\_\_。」

1. 木にぶつかって…。
2. 木にぶつけて…。
3. 木にぶつけてしまって…。

18

## 語彙

分野別語彙(日常生活、学校生活、  
ニュースのこぼれ)、連語…

## 文法

ボイス(自動詞・他動詞、使役、受身…)  
テンス・アスペクト、待遇表現、複文、  
モダリティ(ムード)、終助詞…

(例)手紙を読まれた (受け身)  
手紙を読ませた (使役)  
手紙を読んでもらった (授受表現)

19

## 2-4 談話能力

《ロールプレイ》

両親が7月に田舎から出てくることになりました。8月の夏季休暇の日程を7月に変更してくれるよう、会社の上司に頼みましょう。

カイト: 部長、今よろしいでしょうか。

山本: ああ、カイト君、どうぞ。何か用事?

カイト: あのう、仕事のことじゃないんですが、ちょっと  
お願いしたいことがあります。

山本: うちのことがなんかな。

カイト: はい。それが、実は両親が7月に来たいと言っています。

で、できたら7月の半ばごろに変更していただきたいと思ひまして。

山本: それは楽しみだね。ほかの人の都合もあるから今何と

も言えないけれども、できるだけそうしましょう。

カイト: 勝手に言って申し訳ありません。よろしくお願ひ致します。

『ロールプレイで学ぶ会話(1)こんなとき何と言いますか』凡人社

## 2-5 社会言語能力

次の会話は、リンさんが山下さんの家でのホームステイを断るというロールプレイでの会話です。どのような点に問題があると思いますか。

リン: 山下さん。

山下: どうかしたんですか。困った顔をして…。

リン: 山下さんには本当に親切にさせていただいて、ここのホームステイはとても気に入っていたんですが…。

山下: 私はリンさんに家にいてもらえるだけでうれいんですよ。

リン: それが、その…実は、山下さんの家にホームステイができなくなりました。

山下: え?

リン: あのう、新しい研修が始まったんですが、その研修センターに泊まらなくては行けないという決まりがあって…。

山下: えっ、家にいられない? お部屋だってリンさんのために直したばかりなのに。

リン: でも、研修センターに泊めてもらえることになったんです。だから、本当にすみません。でも、土曜日とか日曜日は自由ですから、山下さんの家に泊まってあげますよ。

## 2-6 ストラテジー能力

次の料理レシピを読んでみてください。

分からない語彙や表現は推測してみてください。

分からない語彙や表現について、推測したあとで、隣の人と相談してみてください。

推測するときどのようなことを考えましたか。どのようなことを手掛かりにしましたか。

22



## 3. 中上級の教え方

### ○基本的な考え方

- (1) 内容重視
- (2) インプットからアウトプットへ
- (3) 多技能統合型の授業デザイン
- (4) 流暢さ(fluency)の養成

## 中上級の授業の流れ

多技能統合型の授業・インプットからアウトプットへ

⇒資料5

25

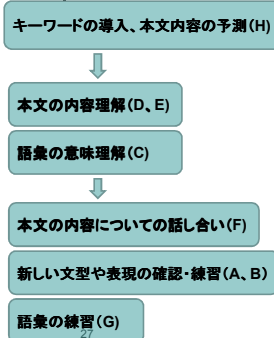
## インプット中心の活動（例）読解

<考えましょう>⇒資料6

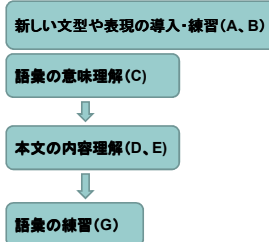
- ・読解素材A「車のコミュニケーション」を使った授業を考えます。
- ・活動例A～Hは、この授業で行う活動の例です。
- ・あなたはどのような順番で行いますか。ペアで話し合っ  
て考えてください。使わない活動があってもかまいません。

26

### 読解授業の流れA



### 読解授業の流れB

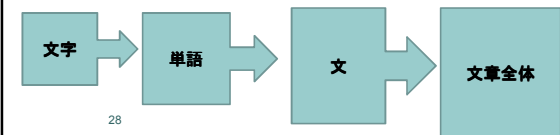


27

### トップダウン・モデル



### ボトムアップ・モデル



28

### トップダウン・モデルの読解授業



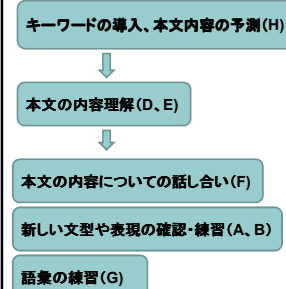
文章の中に書かれた情報を受け取るだけの受動的な行為ではなく、  
母語話者が行っているような能動的な読み方、読解ストラテジーの養成が必要。

#### なぜ？

「中級」「上級」では、日本語母語話者が接するのと同じような生素材が  
理解できることが目標。母語話者の読みに近付ける必要がある。

29

### トップダウン・モデル



#### 前作業

背景知識(スキーマ)の活性化や  
動機づけのために前作業を行いま  
しょう

#### 本作業

目的を持って読ませましょう  
ストラテジーの使用を促しましょう

#### 後作業

読んだことを次の行動につなげ  
ましょう  
言語の学習はこの段階で取り  
入れましょう

30

- ● ● 語彙や文型・表現の練習

**活動例**

- ディクテーション
- 文作成
- テキストの空白埋め
- テキストの復元

31

- ● ● ☆文作成

⇒資料7

- 練習D、練習E、練習Fは、どう違いますか
  - 学習者の負担が少ないのはどれですか
  - それぞれの良い点、不足している点はどのようなところですか
- 練習Gと練習D、E、Fはどう違いますか？

32

- ● ● ☆テキストの復元(ディクトグロス)

1. 教師が、読解文の一部を音読し、学習者に聞かせる。学習者はメモを取りながら聞く。
2. 学習者はペアまたはグループで、お互いにメモを見て協力しながら、もとの文章をなるべく正確に復元して書く。
3. 学習者は復元した文章を、もとの文章と比べて、確認、修正を行う。
4. 教師は、必要であれば文法項目に関する説明を加える。

33

- ● ● 文章理解の後にやる語彙や文型・表現の練習

- ・ディクテーション
- ・文作成
- ・テキストの空白埋め
- ・テキストの復元

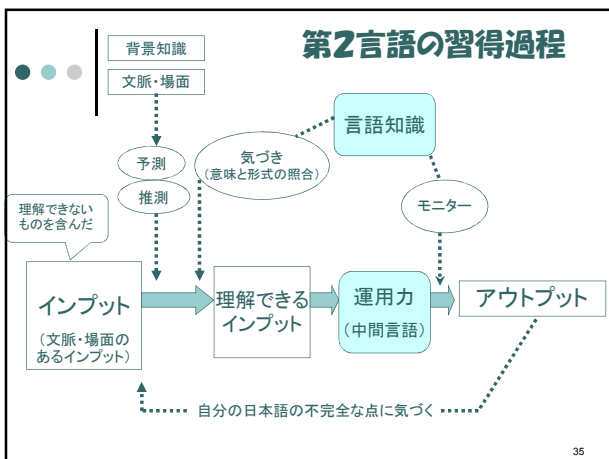
**気づき**

**仮説検証**

**理由**

- ・習得が起こるには意味がわかるだけでなく、そこで使われた言語形式に気づき、意味・用法について自分で仮説を立てて検証(仮説検証)していくことが必要。
- ・「内容重視」の授業を進めながら、語彙や文型・表現などの新しい言語形式への気づきをうながすことが大切。

34



**アウトプット中心の活動 (例) 会話**

＜考えましょう＞ ⇒資料8

- ・ロールプレイの流れAとBを見て、それぞれの良いところについて考えてください。

⇒**タスク先行型のロールプレイ**が初級後半以降で特に効果的なのはなぜだと思いますか。

## ● ● ● | 評価の仕方(例)

⇒資料9

## ● ● ● | 4.授業の実際(日本語国際センターの授業より)

- 「防災 地震」(夏の短期研修の「総合日本語」の教材 島田徳子作成)
- 歌を使った中・上級の教室活動(白井桂・来嶋洋美(2010)「授業のヒント」『日本語教育通信』)  
[http://www.jpf.go.jp/j/japanese/survey/t\\_sushin/hint/201004.html](http://www.jpf.go.jp/j/japanese/survey/t_sushin/hint/201004.html)

## ● ● ● | まとめ ~中上級を教えるときのポイント~

(著者の一人 久保田美子氏作成のPPTより)

- ・「中級」「上級」のレベルや到達目標を考えると、語彙や文型の知識からではなく、「課題」遂行の観点から考えましょう。
- ・何を教えるかは、目標とする「課題」遂行のために何が**必要か**を考えて決めましょう。
- ・「内容重視」の授業をしながら、**学習項目に「気づかせる」**活動も取り入れましょう。
- ・**ストラテジーの養成**や、**流暢さの養成**を意識した活動を取り入れましょう。
- ・**ピア活動**を取り入れましょう。
- ・「課題」で用いる素材や、そこで行う活動は、できるだけ**本物に近いもの(authenticなもの)**を意識して考えましょう。

## ● ● ● | その他(『中上級の教える』より)

- 役に立つサイトの紹介  
<http://nihongo-e-na.com/jpn/>  
<https://www.erin.ne.jp/jp/>  
<http://minnanokyoza.jp/kyozai/home/ja/reader.do>
- 中上級の教科書のリスト

40

● ● ● |  
以上です。  
お疲れ様でした。  
ご静聴ありがとうございました。